

項目	内容
名称	フキタンポポ、カントウヨウ [英]Coltsfoot [学名]Tussilago farfara L.
概要	フキタンポポはヨーロッパ、北アフリカ、インド、中国などが原産のキク科の多年草で、高さ30 cm程度に生長する。名称は「フキタンポポ」だが、フキ (Petasites japonicus) とは全くの別種。主に葉が利用される。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フキタンポポ (カントウカ) 花蕾：「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料)」に該当する。 ・フキタンポポ (カントウヨウ/フキノトウ) 葉、幼若花茎：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。 <p>■ 食品添加物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然香料基原物質リスト コルツフート (フキタンポポ) が記載されている。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・ピロリジジンアルカロイド類を含む (22) (33)。 ・フラボノイド類、粘液質、タンニン類などを含む (29) (33)。
分析法	<ul style="list-style-type: none"> ・テルペノイド類をNMRにて同定した報告がある (PMID:22864346)。
有効性	

循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (58) The Complete German Commission E Monographs (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS). (PMID:22876743) J Diet Suppl. 2012 Sep;9(3):149-54. (PMID:22864346) Yakugaku Zasshi. 2012;132(8):887-93.